

- ・ Linuxカーネル開発スピードが加速
 - 約3ヶ月周期のリリースサイクル
 - 開発者数900人前後(パッチを提供している人数)
 - 1バージョンあたりの変更ライン数
 - ・ 追加40数万行
 - ・ 削除40万行前後

- ・ ソースコード管理方法の変更
 - gitという新しいツールを利用
 - 機能のマージが早くなった
- ・ リリース方法の変更
 - 新しい機能を積極的に取り込む
 - 開発サイクルの最初の2週間は大きな変更も取り込む
- ・ 新しい機能がどんどん追加される

- ・ 新CPU対応
 - Analog Devices Blackfin
 - Panasonic MN10300/AM33(開発中)
- ・ 最近加わった機能
 - タスク グループピング
 - ユーザスペースI/Oシステム(UIO)
 - 仮想 I/O

- ・ 開発中の機能
 - Controller Area Network(CAN)対応
(Socket CAN)
 - 無線LAN対応の強化

- ・ サブシステムとしてリソースコントローラを提供
 - CPU割り当て
 - メモリコントロール
 - スケジューリング
 - CPUアカウンティング
 - ネームスペース

- ユーザ空間デバイスドライバを提供する仕組み
- カーネル内に行う実装
 - メモリおよびレジスタ領域の割り当て
 - 割り込み処理
- あとはすべてユーザ空間